

第5学年1組 国語科学習指導案

授業日 令和3年12月9日(木) 6校時

授業者 附属新潟小学校 教諭 渡邊 裕矢

1 単元名 伝記を読み、自分の生き方について考えよう

—教材文「やなせたかし-アンパンマンの勇気」光村図書5年—

2 本単元の価値

子供は、本単元で初めて伝記について学習する。伝記は、文学的な描写と説明的な描写とで構成される。出来事やそれに対する人物の行動、会話などの事実を捉えたうえで、エピソードの選択や人物の言動に対する評価など、筆者の考えに着目し、客観的に人物を捉えることが重要である。そして、人物の生き方や考え方のどこに共感したのか、同じような考えをしたことはないのかと、人物を通して自分を見つめ直し、新たな考えや理想を抱けるようにしたい。本単元のゴールには、やなせたかしの生き方をもとに自分のこれからの生き方について考える「やなせたかしさんへの手紙」を書くという言語活動を設定する。

本単元は、学習指導要領国語 第5学年及び第6学年の内容における〔知識及び技能〕(3) 我が国の言語文化に関する事項オ、〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むことに関する事項イオカ、言語活動例イを受けて設定した。

第5学年及び第6学年の内容

〔知識及び技能〕(3) 我が国の言語文化に関する事項

(3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

オ 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと。

〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと

(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。

オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

イ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。

教材文は、やなせたかしの生涯における「東日本大震災」「幼少期」「戦争への徴兵」「戦後」の場面に分かれていて、彼の生き立ちや戦争などの体験が、生き方や考え方に影響を与えたことが分かりやすく描かれている。そして、正義とは何か、勇気とは何かを考えさせながら読み取りを進めていくことにより、自分の生き方について考えるきっかけになると考える。

本単元では、より深くやなせたかしの生き方に迫るために、「勇気の花がひらくとき」「やなせたかし-愛と勇気を子どもたちに-」「おとうとものがたり」「何のために生まれてきたの?」という4冊の伝記を並行読書の作品として取り上げる。これらの作品は、やなせたかしと一緒に仕事をした近い立場の人間が書いていたり、インタビュー形式の自伝であったりする。そのため、これらの作品には、それぞれの書き手の視点により、教材文に書かれたエピソードがより詳しく書かれている。このように、書き手が異なり内容が詳しく書かれている複数の伝記を扱うことで、その人物への理解を深めさせ、自分の考えの形成にもつなげる。

限られた時間の単元の中で、4冊全てを子供が読み込むことは難しい。そのため、「知識構成型ジグソー法」を取り入れた授業を試みることにする。まず、自分が読んだ本と同じ本を読んだ友達とグループを編成し、それぞれの考えを伝え合う。このことにより、考えの妥当性を確認したり、新たな視点に気付いたりしながら、自分の考えを強化することができる。そして、次に違う本を読んだ友達とグループを編成し、それぞれの考えを伝え合う。それぞれが読み取った内容は、他の本を読んでいる友達には知り得ない情報であり、自分の考えを伝えたり友達の考えを聞いたりする必要感と責任感を高めることができる。

3 本単元で育成する資質・能力

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
・語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする知識・技能	・登場人物の相互関係や心情などを、描写を基に捉える力 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力	・文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、進んで他者と考えを伝え合う態度

4 本実践で目指す姿

書き手や内容の異なる複数の伝記を読み比べることを通して、描かれる人物の生き方の理解を深める子供

5 指導計画 全7時間

時	学習活動	子供の姿	☆評価する対象
1	○教材文「アンパンマンの勇気」を一読し、内容について初発の感想をもつ。 ○やなせたかしの生き方に学び、「やなせたかしへの手紙を書く」という単元を通した課題を共有する。	◎伝記を読んで、「やなせたかし」の生き方に学ぼう。 ・私は、やなせたかしさんは「最後まで人のために尽くして行動した人」だと思いました。亡くなる直前まで震災で傷ついた人たちのために絵や物語を書いていたということにびっくりしました。	
2 3	○伝記に書かれた出来事や行動を整理し、やなせたかしの生き方について考える。 【知識構成型ジグソー法①】 A：子供時代～青年時代 B：兵隊時代 C：マンガ家時代 D：東日本大震災	◎「やなせたかしさん」は、どんなことを大切にして生きてきたのだろうか① ・やなせたかしさんは、戦争の経験や弟を亡くした経験から、本当の正義とは何かに気付きました。そして、その思いを込めて、アンパンマンを考え出しました。「正義を行い、人を助けようとしたら、自分も傷つくことをかくごする」という信念があったからこそ、最後まで人のために尽くすことができたんだと思いました。	☆発言、記述 ・それぞれの立場で、文章を読んで理解したことに基づいて、やなせたかしの大切にしてきた生き方や考え方について考えることができる。
4 5	○自分の選んだ伝記を読んで「やなせたかし」の生き方についての考えを深める。 ○同じ本を選んだ友達と意見交流を行う。 【働き掛け① エキスパート活動】	◎書き手の異なる「やなせたかし」の伝記を読み、たかしの考えや生き方をもっと詳しく知ろう。 ・私は、「勇気の花がひらくとき」を選んで読みました。「大人になってからも、子供の頃の悲しかったりさびしかったりした気持ちを忘れずに心の中にもち続けていたから、人の心をうつ作品を作ることができた」ということがよく分かりました。	☆発言、記述 ・自分の選んだ本を読み、文章を読んで理解したことに基づき、やなせたかしの大切にしてきた生き方や考え方について考えることができる。
6 本時	○読み取ったことを交流して、「たかしの生き方」についての考えをさらに深める。 【知識構成型ジグソー法②】 A：勇気の花がひらくとき B：やなせたかし 一愛と勇気を子どもたちにー C：おとうもののがたり D：何のために生まれてきたの？	◎「やなせたかしさん」は、どんなことを大切にして生きてきたのだろうか② ・友達の読んだ伝記と比べて考えると、やなせたかしさんは、「優しさや正義感」を大切にして生きてきた人だということが共通していました。そして、それは子供時代の生活や、戦争時代の経験がつながっているんだと思いました。書き手によって表現の仕方やエピソードが違っていたので、伝記を読み比べると面白いと感じました。	☆発言、記述 ・それぞれの立場で読み取ったことを交流し、やなせたかしの大切にしてきた生き方や考え方についての考えを深めることができる。

7	○「やなせたかしさんへの手紙」を書く。 ○書いた文章を友達と交流して読み合う。	◎やなせたかしの生き方をもとに、自分の生き方について考えよう。 ・私は、やなせたかしの「どうしてもだれかを助けたいと思うとき、本当の勇気がわいてくるんだ」という言葉に感動しました。私は、この先困っている友達を見かけることがあったら、勇気を出して自分から声をかけられるように頑張ってみたいと思います。	☆記述 ・文章を読んで理解したり，考えを交流したりしたことに基づいて，自分の考えをまとめることができる。
---	--	--	---

6 本時の構想

(1) 本時のねらい（本時 6／7時間目）

やなせたかしの生き方や考え方について，書き手の異なる複数の伝記を読み，それぞれが考えたことを交流する活動を通して，読み取った内容を関連させながらより深くやなせたかしの生き方や考え方を理解することができる。

(2) 展開

単元を通した言語活動として，「やなせたかしさんへの手紙」を書き，友達と交流をする活動を設定している。第2～3時には，教材文から，やなせたかしの幼少期や戦争体験などの叙述を根拠に，たかしの生き方や考え方を読み取っている。そして，前時までに教材文以外の書き手の異なるやなせたかしの伝記をそれぞれが1冊ずつ読み，同じ本を選んで読んだ子供同士の意見交流を終えている【働き掛け1：エキスパート活動】。子供たちは，自分の選んだ1冊については読み取りを進め，たかしの生き方についての考えを深めているが，自分の選んでいない3冊についての情報は持ち得ていない。このような子供に，次のように働き掛ける。

教師の働き掛け	学習活動と子供の姿
○ 前時までの学習内容を確認する。 - 確認「これまで，やなせたかしの伝記を読み，やなせたかしの生き方や考え方を読み取ってきましたね。そして，もっと深く読み進めるために，それぞれが1冊ずつ他の筆者の書いた伝記を読みましたね」 - 説明「今日は，他の伝記を読んだ友達と話し合って，やなせたかしの生き方についての自分の考えを深めましょう」 - 発問「以前に教材文で考えた時には，どんなことに気を付けて読み取りましたか」 - 確認「今日の流れを確認しましょう」 ※ 学習のゴールを確認する。	○ 前時までの学習内容を思い出す。 【学習課題】 やなせたかしさんは，どんなことを大切に生きてきたのだろうか。 - 他のみんなは，どんなことを考えたのか，聞いてみたい。 - 共通点を考える。 - つながりを考える。 - みんなと話し合って，いい考えがまとまるという。
○ 違う伝記を読んだ友達同士で意見交流をする場を設定する（ジグソー活動）。 【働き掛け2】 指示「自分と違う伝記を読んだ友達と，それぞれが読み取ったやなせたかしの生き方についての考えを伝え合いましょう」 ※ なるべく4種類の本を選んだ子が混ざり合うようなグルーピングをする。 ※ グループで1つの答えを導き出すようにさせ，画用紙に書かせる。	○ 違う伝記を読んだ友達と考えを交流する。 - Aの「愛と勇気を子どもたちに」には，支えてくれた周りの人々に対する感謝の気持ちがたくさん書かれていたよ。 - Bの「勇気の花がひらくとき」には，やなせたかしさんは偉くなってもいばらないと書いてあったから，みんなに優しい人だと感じた。 - Cの「何のために生まれてきたの？」には，読者ががっかりさせないために気をつかってマンガを描いていたとあったよ。 - Dの「おとうとものがたり」には，弟ばかり大切にされていた悲しみや，弟に対する劣等感なんか書かれていたよ。

教師の働き掛け	学習活動と子供の姿
○ ジグソー活動で導き出したグループの考えを全体で共有する（クロストーク）。 【働き掛け3】 ・指示「グループでまとめた考えを教えてください」 ・発問「これらの生き方や考え方は、やなせたかしさんが生まれつきもっていたものだったのですか」	○ ジグソー活動で導き出したグループの考えを全体で発表し、伝え合う。 ・人に優しくすることを大切にしてきた。 ・正義感を大切にしてきた。 ・思いやりを大切にしてきた。 ・感謝の思いを大切にしてきた。 ・あきらめない気持ちを持ち続けた。 ・生まれつきではないはず。 ・それまでに経験したことがきっかけで、正義感を身に付けたのだと思う。 ・お父さんや弟を亡くしたことで、より人に優しくなれたんじゃないかと思う。
○ グループで導き出したやなせたかしさんの生き方と、読み取った内容とのつながりを考えさせる。 【働き掛け4】 ・指示「やなせたかしさんの生き方と、読み取ったこととのつながりを考えてみましょう」	○ やなせたかしさんの生き方と、自分たちが読み取ったこととのつながりを考える。 ・正義感は、戦争での経験を通して身に付いたものだよね。 ・戦争で苦しい思いをして、「正義の戦争なんていうものはないんだ」と教科書に書いてあった。 ・弟も戦争に行き、戦死してしまったことも、正義感に関係あるんじゃないかな。 ・たった一人の家族だった弟を亡くした悲しみから、戦争を憎んだ。だから、本当の正義について考えたんだと思う。 ・そして、「本当の正義とは、おなかのすいている人に、食べ物を分けてあげること」と考え、アンパンマンが生まれたってことね。
----- 本時ここまで ----- ○ やなせたかしの生き方についての最終的な自分の考えを問う。 【働き掛け5】 ・発問「やなせたかしさんは、何を大切にして生きた人だったと考えますか。また、やなせさんの生き方から、あなたは何かを感じましたか」 ・指示「考えたことをまとめて、やなせたかしさんへの手紙をロイロノートに書きましょう」	
	○ これまでに学習したことをまとめ、自分の考えを手紙の形にして記述する。 やなせたかしさんは、「本当の正義」を考え、大切にしていた方だったのですね。そして、その正義感は生まれもったものではなく、お父さんや弟さんとの別れや、戦争でのつらい経験から生まれたものだったことが分かりました。それが、みんなに優しいヒーロー「アンパンマン」を生み出すことにつながったのですね。私も、やなせさんのような正義感をもち、困っている人がいたら自分から声をかけて助けてあげられるような人になりたいです。

(3) 評価

やなせたかしさんの生き方や考え方について、書き手の異なる複数の伝記を読み、それぞれが考えたことを交流する活動を通して、読み取った内容を関連させながら、より深くやなせたかしさんの生き方や考え方を理解することができたかをロイロノートの記述で見取る。